

2 目標達成計画

作成日: 平成 31 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を実施していなければ、委員会としての会議を行わなくても良いと思い、実施していなかった。外部評価調査の際に助言を受けたので、課題として取り組んでいきたい。	身体拘束の理解を深め、身体拘束のない生活を支援する。	身体拘束を適正化するための委員会を発足し、月1回の会議を行い、会議録を残す。また、外部・内部研修へ参加し、職員への周知を図る。	12ヵ月
2	7	虐待に対する認識が不足している点が見られるので、課題として取り上げたい。	虐待に対する理解を深め、地域や家族、利用者様から信頼され、安心・安全なホームの運営に努める。	事故防止対策委員会として、月1回会議を行い、ヒヤリハット報告や事故の分析を行い、行動計画を基にケアの手順の見直しを検討し、実践していく。また、外部・内部研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップに努める。	12ヵ月
3					ヵ月
4					ヵ月
5					ヵ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。